

令和7年11月15日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム ひなたぼっこ・向横田

施設種類：認知症対応型共同生活介護

会議開催日時：令和7年11月14日（金）

開催場所：ひなたぼっこ・向横田

出席者

(人数)	利用者	〇人	知見を有する者等	2人
	利用者家族	〇人	益田市保健所職員	1人
	地域住民の代表	1人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）				4人

【行政からの連絡事項】

- ・インフルエンザ等流行っているので注意してください。

ホームの近況・取り組み（令和7年9月10日～令和7年11月13日）

【入居者状況】

- ・ 入居者 9名（女性 8名、男性 1名）
- ・ 入退去 あり
- ・ 平均年齢 87.6歳
- ・ 平均介護度 1.8（介護度1-3名 介護度2-4名 介護度3-2名）

- 入院 あり

【活動状況】

調理、洗濯干し、洗濯たたみ、散髪、各主治医往診、ハンドクリップ、スポーツスタッフ、ドライブ(益田市内、津和野、ゴミ捨て)、歌(嚙下体操)、早口言葉、名前書き、なぞり書き、髪染め、散歩、テレビ体操、お盆拭き、足上げ運動、立ち上がり運動、牛乳パック切り・束ねる、トランプ、袋たたみ、落し紙折り、台拭き、足のマッサージ、塗り絵、シーツ交換、ネーム貼り、家族様と電話で交流、新聞折り、読書、書き写し、メモ帳切り、スクラッチアート、新聞ゴミ箱折り、紙ちぎり、紙切り、廊下往復、指体操、敬老会、口腔体操、面会、ゴミ捨て、モップかけ、居室掃除、廊下掃除、居間掃除、布切り、布たたみ、縫い物、日光浴、電話、荷物運び、食器洗い、包装紙たたみ、ペーパーたたみ、利用者様同士の団らん、ボウリング、ゴミ捨て、お絆、じゃんけん、外泊、外出、段ボールくくり

家族・地域との関係

- 新聞紙を頂く。
- 電話でのやりとりを行う。
- 面会、外泊の実施

*研修 (内部)

*研修 (外部) 福祉避難場所の設置・運営に関する実務研修 後期

ヒヤリハット 事故報告

事故報告書 1件 転倒 怪我や搬送なし

その他

○結核について

益田市保健所より

「益田市館内における結核の発生状況および高齢者施設で求められる結核対策の考え方」についての研修会を実施。

ホームより

・感染となっている人で、他にうつる人、うつらない人がいるのはどういう事ですか。

保健所より

・感染してもきちんと薬を服用すればいずれ菌が減って「ほぼうつさない状態」になるということ。うつる人は何も治療せず菌が増えたり、現に発病している人です。

ホームより

・感染の人で薬の服用が出来ない、食事が摂れず体力低下がみられる方は感染のリスクはどうなのでしょうか。

保健所より

・治療の薬は途切れず数週間飲み続けないと効果が著しく下がりリスクは増加、途中で途切れると耐性菌の発現にもつながります。食事が摂れず体力低下があると抵抗力が下がりそれが体内の菌に負け発病リスクが増加することも考えられます。

ホームより

・服薬拒否や食事拒否のある方は本人の発病リスクや、他への感染リスクの事を考えると主治医に相談して入院治療対応も検討した方がよいでしょうか。

保健所より

・服薬治療が難しい事や体力低下の心配があるのならかかりつけ医に相談して入院治療も考えてもらった方が良いかと。

有識者より

・益田市で他に結核感染事例は無いのですか。

保健所より

- ・他の高齢者施設で何件か感染の報告はあります。

地域の方より

- ・乾燥する季節になったので火のもとには注意してください。
- ・益田市の熊の出現はどうでしょうか？

行政より

- ・熊の出現はありますが、全国的に見ると益田市は少ないです。

有識者より

- ・民生委員今月末で任期満了で交代となります。